第29回 美浜・五木ひろしマラソン

5月14日に、第29回美浜・五木ひろしマラソンが、丹生特設会場から佐田までの海岸線コース（日本陸連公認）で開催されました。

大会には、北は北海道、南は熊本県から全16部門に3，546人のランナーが参加しました。

午前9時50分に20㎞の部が勢いよくスタート。晴天のもと潮風を肌で感じながら、風光明媚な海岸線コースで健脚を競いました。

今回、五木ひろしさんは、スケジュールの都合でご参加いただけませんでしたが、ビデオによる応援メッセージをいただきました。また、ゲストとして、演歌歌手の森山愛子さんと歌手の川上大輔さんが参加されました。

ゲストの二人はスターターのほか、森山さんは1・5㎞、川上さんは3㎞のゲストランナーとして走られました。また、スペシャルライブとトークショーでは、会場を大いに盛り上げていました。

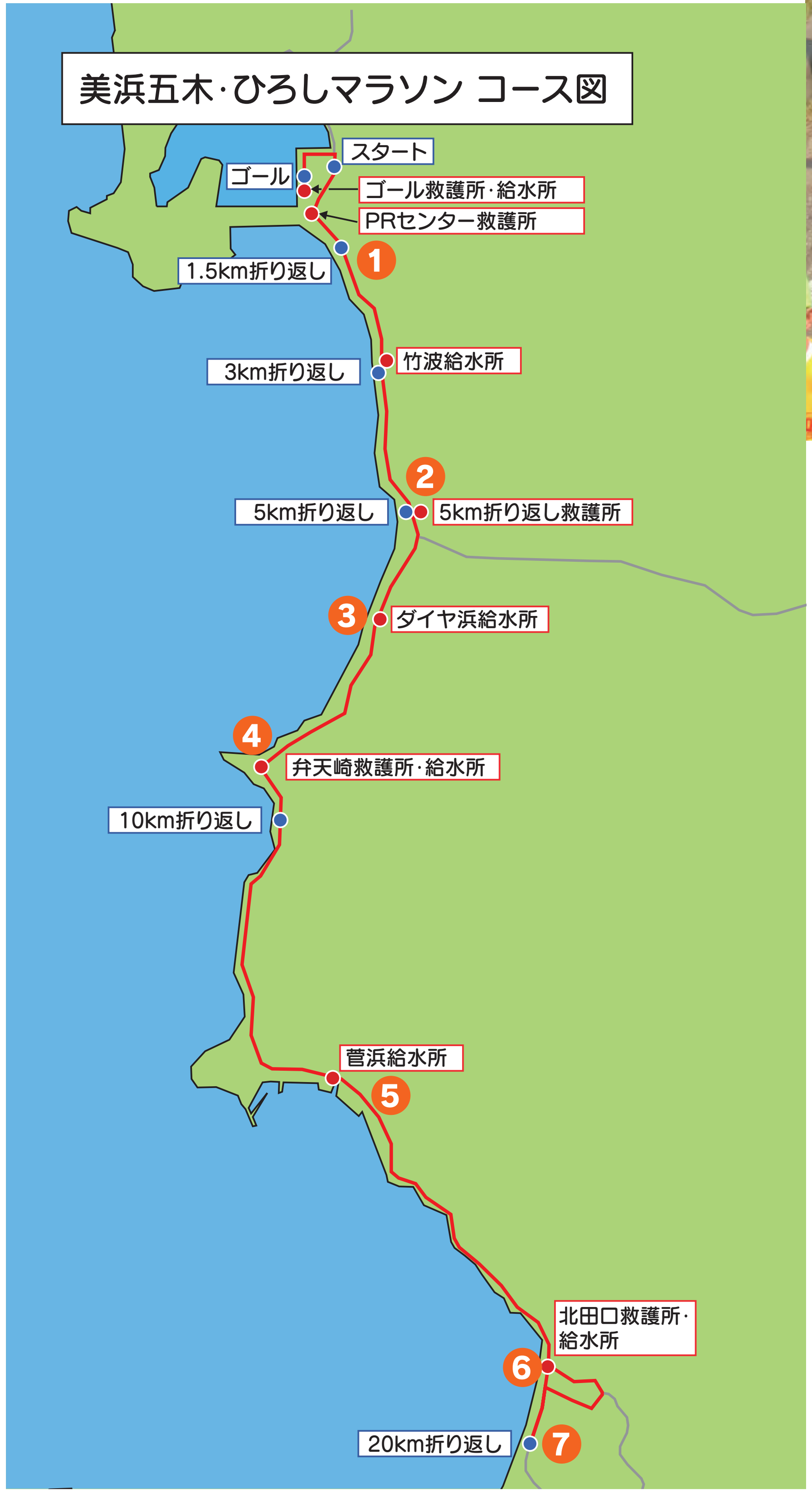
↑選手宣誓を行う森下聖さん

↑山口町長とゲストの二人とのトークショー

↑川上大輔さん

↑森山愛子さん

3,546人のランナーが美浜の海岸線を駆け抜ける



記録（敬称略）

部　門	出走者数(人)	優勝者	タイム(時・分・秒)
20km一般男子	704	関本　拓也　(大阪府)	1:14:23
20km一般女子	66	村田　祥江　(三重県)	1:22:25
10km一般男子	874	宮里　康和　(大阪府)	0:34:18
10km一般女子	140	井野　光子　(大阪府)	0:36:01(大会新)
5km29歳以下男子	215	冨田　翔太　(愛知県)	0:18:16
5km30歳代男子	181	高杉　泰範　(岡山県)	0:16:41
5km40歳以上男子	504	八木美智夫　(静岡県)	0:18:14
5km29歳以下女子	38	藤木　百合　(敦賀市)	0:24:56
5km30歳以上女子	92	青山　妙子　(愛知県)	0:21:13
3km50歳以上男子	163	中平　久永　(和歌山県)	0:10:39
3km一般女子	104	五十嵐智美　(千葉県)	0:12:26
3km中学生男子	25	中村　天茉　(京都府)	0:10:29
3km中学生女子	14	草野　祐香　(滋賀県)	0:11:24
1.5km小学生男子	39	小野　太陽　(愛知県)	0:05:26
1.5km小学生女子	37	浜野　彩花　(敦賀市)	0:05:55
1.5km親子	350	(175組)(計測無し)	

持てる力を精一杯出し切ってゴールした選手たち。成績上位者には、賞状と副賞が送られました。

ゴール

表彰式

Runner Interview

5km29歳以下男子の部で優勝した

冨田翔太さん（愛知県）

地元である美浜町の大会なので参加しました。

皆さんの応援に応えられるよう精いっぱい走りましたが、まさか優勝できるとは思っておらず驚きました。機会があれば、また参加したいです。

10km一般女子と夫婦の部で大会新記録を出した

右・井野光子さん　左・井野洋平さん（大阪府）

この大会はインターネットで知って初めて参加しました。ぜひ記録を更新したいと思っていたので、達成できて非常に嬉しいです。

来年も、記念大会になると聞いているので参加したいと思います。

遠方から来られた

島倉貢さん（北海道）

この大会は、仕事で美浜にいる時に教えてもらい、第19回大会から参加しています。

今回もぜひ完走できるように頑張ります。

親子の部に参加した

中・辻原克潤さん　右・辻原琉衣さん　左・辻原壮真さん（佐田）

子どもと一緒に1.5kmを走りました。

コースのアップダウンが激しく大変でしたが、来年も参加したいと思います。

荷物預かり所

計測チップ回収

駐車場整理

走路員

給水所

Tシャツ交換

REMによる走者補助

清掃活動

ゴール

ランナーを支えたボランティアの皆さん

美浜・五木ひろしマラソンは、町内の区や団体、事業所等を中心とした、総勢約600人のボランティアスタッフによって運営されています。今回も、大会会場をはじめ、救護所や給水所、駐車場、コース等、それぞれの持ち場で、さまざまな業務を行っていただきました。

早朝よりご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。

竹波給水所

（左から）中村文子さん、澤田ゆみ子さん田辺光子さん、川畑江美子さん（竹波）

竹波給水所はランナーが多い給水所で、ピークの時は大変でしたが、ランナーの方に「また走りに来たい」と思って頂けるようなおもてなしを心掛けました。

丹生特設会場駐車場

港一さん（丹生）

ここ数年、駐車場係をしています。お馴染みの方もいますし、ここ数年家族の参加者が増えているように感じます。

ランナーの皆さんに、少しでもフォローが出来ればと思います。

ＰＲセンター救護所

若狭医療福祉専門学校の皆さん（上段左から）三田竜生さん、川嶋塁さん（下段左から）平城勇登さん、大江圭太さん

何かあったら、自分なりに救護にのぞもうと思い参加しました。当日は気温が高かったため、ランナーの顔色に注意しました。3名ほどケガや転倒等がありましたが、大事はなくよかったです。

特集 美浜熟成魚

題字 吉長 毎夕三

町では、美浜熟成魚のブランド化を進めています。
皆さんの中には、「熟成魚って何？」「どうやって食べるの？」と思っている方はいませんか。
今月号では、美浜熟成魚についてお知らせします。

美浜熟成魚とは何か

美浜熟成魚というと聞きなれない方が多いと思います。しかし、美浜町では古くから発酵熟成文化が各地で受け継がれてきました。

漁村地域では、ブリ等の大きい魚は獲れたてを食べるよりも、寝かせて食べた方が旨みが増して美味しいとされてきました。いわゆる「寝かせ」こそが熟成なのです。

美浜熟成魚は、早朝に若狭湾で水揚げされた新鮮な魚を下処理した後、3日から2週間程度の間、温度と湿度を一定に保った環境（恒温恒湿）で熟成させたものです。

熟成した魚は、旨みが凝縮され、もっちりとした歯ごたえへと変化します。

↑熟成庫内で熟成中のアジ

美浜熟成魚に旨みが凝縮されるワケ

美浜熟成魚に含まれる旨み成分（イノシン酸等）は、生きた魚にはほとんど含まれていません。呼吸によって、イノシン酸が生成されないからです。

しかし、魚が死んで呼吸が止まると、魚の体内で「自己消化」という分解が進み、筋肉内のATP（アデノシン三リン酸）が分解されて、旨味成分であるイノシン酸が生成されます。これを熟成と言います。しかし、自己消化が更に進むと、イノシン酸が分解され臭いが強くなる等、腐敗してしまいます。

イノシン酸が最大限に生成（熟成）された頃が、美浜熟成魚の食べ頃となります。

↑熟成させたタイやヒラメ等

美味しい美浜熟成魚を作るには

魚は、牛や豚に比べて水分量が多く、熟成のスピードが速いため、最も旨みがある状態を見極めるには経験と技術が必要です。

また、イノシン酸の元となるATPは筋肉を動かすときのエネルギー源となるため、魚が暴れれば暴れるほど減少していきます。

そのため、美浜熟成魚を作る時には、水揚げした魚に「神経締め」と呼ばれる処置を施すことで、魚の暴れを抑えATPの減少を少なくしています。

神経締めは、より多くの旨味成分を残す処置であるため、美浜熟成魚の命と言えます。

↑神経締めをする漁師

美浜熟成魚が評判！

平成27年6月29日に東京日本橋において、株式会社fun functionが経営する「熟成魚場 福井県美浜町日本橋店」がオープンしました。

この店では、美浜町のアンテナショップ型居酒屋として、美浜熟成魚はもちろんのこと、お米や野菜、お酒等、美浜町でとれた食材を提供しています。

店には、元々都会に住んでいる方だけでなく、福井県出身で首都圏に出られている方も訪れており、大変好評をいただいています。

↑「熟成魚場 福井県美浜町 日本橋店」で提供している美浜の食材

美浜熟成魚のブランド化

本年4月に、株式会社fun functionの子会社である、ふくい食ブランド推進株式会社が経営する「美浜熟成魚加工場」が日向に完成しました。

加工場の完成により、美浜熟成魚の大量生産が可能となりました。今後は、町内の飲食店や旅館、民宿等での提供も検討しています。

町では、へしこや美浜熟成魚等といった発酵熟成文化を全国に発信し、美浜ブランドとして認知度を高める取り組みを進めていきます。

↑美浜熟成魚加工場

※お問い合わせ先
町みはまブランド開拓課（担当・渡辺）
☎32－6714

Topics

◎美浜熟成魚の試食会を開催しました

4月25日に、生涯学習センターなびあすで、株式会社fun function総料理長の姥島学氏を迎えて、町内の旅館や民宿等を営む方を対象に試食会を開催しました。

試食会では、美浜熟成魚の種類や調理方法等に関する説明の後、鮮魚や美浜熟成魚、美浜塩熟ブリの刺身、熟成アジフライを試食しました。参加者は、美浜熟成魚と鮮魚を食べ比べ、食感や旨味の違いを味わっていました。

その後の質疑応答では、賞味期限や購入金額に関する質問が出ていました。

↑美浜熟成魚の試食をする参加者

◎姥島さんに美浜熟成魚について話を伺いました

Q美浜熟成魚の特徴・魅力を教えてください。

A鮮魚は食感を楽しむものですが、熟成魚は旨みを楽しむものです。身はねっとり、もっちりとしているのが特徴です。鮮度の良い美浜町の魚を神経締めして旨みを伸ばすことで、白身魚だと昆布締めのような味わいになります。

Q「熟成魚場 福井県美浜町 日本橋店」での反応はどうですか。

Aさまざまな感想はありますが、第一声には「旨い！」と言われます。「口に入れた瞬間に旨さが伝わってくる」との感想もあり、また、もっちりとした食感も好評です。

美浜塩熟ブリに関しては、まず見た目で驚かれます。食感や味については「今まで味わったことがない」と言われます。

↑美浜塩熟ブリ

Q美浜熟成魚の美味しい食べ方を教えてください。

A熟成魚は刺身だけでなく、焼物や揚物でも美味しく頂けます。特に「5日間熟成アジフライ」は絶品です。また、塩味のある熟成魚と、味わい深い辛口の早瀬浦とは相性が良くおすすめです。

美浜町エネルギービジョンを策定

町では、平成29年3月に「美浜町エネルギービジョン」を策定しました。このビジョンは、平成42年を目標年次として、再生可能エネルギーを活用したまちづくりを進めるにあたっての、美浜町が目指すべき姿を描いたものです。

■ビジョン策定の背景

本町は、これまで50年以上にわたり日本の原子力発電のパイオニアとして、原子力事業を支えると共に、国の原子力政策や安全技術等の推進に貢献しながら「原子力との共生」をしてきました。

近年では、平成23年3月に発生した東日本大震災・東京電力㈱福島第一原子力発電所事故から原子力発電を取り巻く環境は大きく変わり、新たに制定された世界最高水準とされる安全規制基準の下で、関西電力㈱は美浜発電所1、2号機を廃止することを決定しました。3号機については、昨年10月に再稼働の前提となる工事計画等が認可されており、今後、運転再開に向けての安全対策工事等が行われる予定です。

一方、国では再生可能エネルギーの導入等により原子力発電への依存度をできる限り低減させていくとの方針が、現行のエネルギー基本計画（平成26年4月～）等で示されています。

■ビジョン策定の目的

このような背景を踏まえ、町では、次の目的を達成するため、本ビジョンを策定することとしました。

○廃炉等の町内環境の変化に対応して、「地元企業が活性化できるような経済対策」や「継続的な雇用の確保・創出につながるような地域発展等のあり方」の決定

○周辺地域の模範となるような「再生可能エネルギーの取り組みを通したまちづくりのあり方や指針」の決定

■ビジョンの策定に向けて

ビジョンの策定にあたっては、「エネルギービジョン策定委員会」を設置し、福井大学や地域・団体の代表者、企業を加え、検討を進めました。

ビジョン（町のめざすべき都市像）とは、「美浜町が将来こうありたいとめざす『町としてのあり方』を示した絵姿」です。策定にあたっては、町の自然・社会環境の地域特性、地域エネルギーやまちづくりの観点から見た潜在的な可能性の把握と、地域が抱える課題等を整理し、町民・事業者への意識調査、策定委員からの提言を整理し、ビジョンの方向性を定めました。

方向性① 外貨をかせぐ、ヒト・企業を呼び込む

方向性② 取り組みを町内外へ情報発信・双方向のやり取りの実現

方向性③ 地域資源を活用した域内経済循環の活性化

■めざすべき都市像

地域特性、地域課題、ビジョンの方向性を踏まえ、「**『美浜×エネルギー』のショーケースとなる次世代拠点づくり→地域資源の地消による、ヒト・カネ・企業の活性化**」をキャッチフレーズとした都市像を定めました。

地域に根付いた再生可能エネルギーのほか、観光資源、農産物、交通資源といった地域が持つ資源を最大限活用し、「美浜ならではのエネルギーを活かしたまちづくりの活性化につながる拠点づくり」を進め、そのような取り組みを「ショーケース」として活用し、次世代のためのまちづくりへとつないでいきます。

■取り組むべき施策の方向性

美浜町が目指すビジョン実現のために、キャッチフレーズに基づいて4つの施策の方向性を定めました。

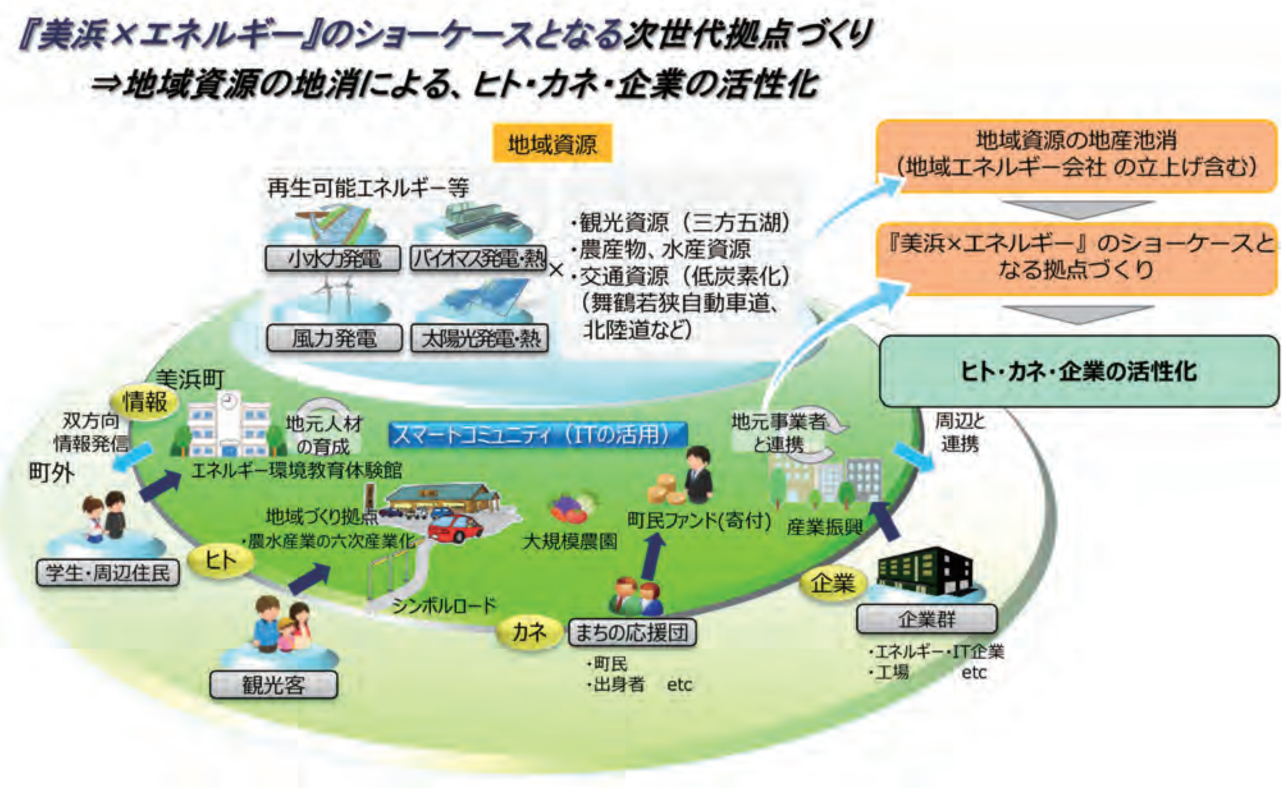
また、ビジョンの実効性を高め、進捗管理を図るために、美浜町域における二酸化炭素排出総量の削減目標値を設定しました。（次頁参照）

■今後の町の取り組み

町では、本ビジョンを実現していくための詳細な事業計画を本年度に策定し、エネルギーの取り組みを通したまちづくりを進め、「エネルギーの町」として、町内外に発信できるよう取り組んでいきます。

※お問い合わせ先
町エネルギー政策課（担当・久木）
☎32－6716

美浜町のめざすべき都市像



ビジョンを実現するために施策の方向性を策定

「エネルギー×まちづくり」の視点で整理した施策の方向性

① ヒトを育て、呼び込む （啓発、町外との双方向の情報発信、地元人材育成等）
エネルギー環境教育、町の啓発取り組み・ＰＲ活動や事業推進において町民参加の促進等、将来の美浜を支える人材の育成・輩出を図ります。

② 地域でカネをまわす （町民ファンド(寄付)、リース等）
事業のために必要な資金の調達方法や使途、将来の運用方法を決定することによって、町内で流通する資金の確保・拡大を図ります。

③ 企業を元気にする （地域内外連携、企業誘致等）
「町内事業者の競争力の強化」「地域内外の事業者との連携強化」「町外からの企業誘致」を進め、エネルギー関連産業の目線から、産業振興を図ります。

④ グリーンで効率的なインフラを整える （交通、ICT、エネルギーインフラ等）
交通インフラのあり方、ＩＣＴの活用方策、新たな発電設備や利用に関するエネルギーインフラ設備の敷設のあり方等、①～③の取り組みを支えるインフラの整備を図ります。

エネルギービジョン実現の目標値

1 対象	美浜町域における二酸化炭素排出量総量
2 基準年	2013 年 (日本が国際連合に提出した日本の約束草案に基づく)
3 計画期間	2017 年～ 2030 年 (政府目標等を踏まえて設定)
4 目標値	基準年の値から 25% 削減 79.9 千トン ⇒ 60.2 千トン （削減量 19.7 千トン）